

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 5 月 11 日 (2006.5.11)

【公表番号】特表 2005-520904 (P2005-520904A)

【公表日】平成 17 年 7 月 14 日 (2005.7.14)

【年通号数】公開・登録公報 2005-027

【出願番号】特願 2003-578464 (P2003-578464)

【国際特許分類】

**C 0 8 L 77/00 (2006.01)**

**C 0 8 K 7/14 (2006.01)**

**C 0 8 L 25/12 (2006.01)**

**C 0 8 L 51/00 (2006.01)**

【F I】

C 0 8 L 77/00

C 0 8 K 7/14

C 0 8 L 25/12

C 0 8 L 51/00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 15 日 (2006.3.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記の成分を含んでなる熱可塑性成形組成物：

(i) 20 ～ 50 % のグラフト化アクリレートゴム；

(ii) 2 ～ 10 % の、重量平均分子量 60,000 ～ 180,000 g / モルを有し、スチレン、(メタ)アクリロニトリルおよび無水マレイン酸から誘導された構造単位を含有する第 1 コポリマー；

(iii) 20 ～ 80 重量 % のポリアミド；

(iv) 0 ～ 40 重量 % の、重量平均分子量 70,000 ～ 200,000 g / モル、好ましくは 105,000 ～ 155,000 g / モルを有し、その構造がスチレンおよび(メタ)アクリロニトリルだけから誘導された単位を含有する第 2 コポリマー；

の樹脂ブレンド(パーセントは該ブレンドの重量に対する)；ならびに

成形組成物の重量に対して 5 ～ 50 % の充填材成分であって、平均長さ約 1 / 64 " ～ 1 / 16 " を有する粉砕ガラス繊維を含有する充填材成分。

【請求項 2】

充填材が、平均粒子長さ 20 ～ 300 ミクロンおよびメジアン直径 2 ～ 20 ミクロンを有する粒子形態のウォラストナイトを、成形組成物の重量に対して 25 % までの正量でさらに含有する請求項 1 に記載の熱可塑性成形組成物。

【請求項 3】

ウォラストナイトが 22 % までの正量で存在し、そのメジアン直径が 3 ～ 10 ミクロンであり、その長さが 30 ～ 250 ミクロンである請求項 2 に記載の熱可塑性成形組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0038】

本発明を例示するために前記に詳しく記載したが、この記載は例示目的に過ぎず、請求の範囲によって限定される以外は、本発明の意図および範囲を逸脱せずに当業者によってそれらに変更を加えるものと理解すべきである。

本発明の対象およびその好ましい態様を列挙すれば、以下の通りである：

1．下記の成分を含んでなる熱可塑性成形組成物：

(i) 20～50%のグラフト化アクリレートゴム；

(ii) 2～10%の、重量平均分子量60,000～180,000g/molを有し、スチレン、(メタ)アクリロニトリルおよび無水マレイン酸から誘導された構造単位を含有する第1コポリマー；

(iii) 20～80重量%のポリアミド；

(iv) 0～40重量%の、重量平均分子量70,000～200,000g/mol、好ましくは105,000～155,000g/molを有し、その構造がスチレンおよび(メタ)アクリロニトリルだけから誘導された単位を含有する第2コポリマー；

の樹脂ブレンド(パーセントは該ブレンドの重量に対する)；ならびに

成形組成物の重量に対して5～50%の充填材成分であって、平均長さ約1/64"～1/16"を有する粉碎ガラス繊維を含有する充填材成分；

2．充填材が、平均粒子長さ20～300ミクロンおよびメジアン粒径2～20ミクロンを有する粒子形態のウォラストナイトを、成形組成物の重量に対して25%までの正量でさらに含有する上記1に記載の熱可塑性成形組成物；

3．グラフト化アクリレートゴムが25～45%の量で存在する上記1に記載の熱可塑性成形組成物；

4．第1コポリマーが4～8%の量で存在する上記1に記載の熱可塑性成形組成物；

5．第1コポリマーが、スチレンから誘導された構造単位50～90重量%、(メタ)アクリロニトリルから誘導された構造単位10～50重量%、および無水マレイン酸から誘導された構造単位0.2～30重量%を含有する上記1に記載の熱可塑性成形組成物；

6．ポリアミドが25～60重量%の量で存在する上記1に記載の熱可塑性成形組成物；

7．ウォラストナイトが22%までの正量で存在し、そのメジアン直径が3～10ミクロンであり、その長さが30～250ミクロンである上記3に記載の熱可塑性成形組成物；

8．充填材成分が、成形組成物の重量に対して20～40重量%の粉碎ガラス繊維を含有する上記1に記載の熱可塑性成形組成物。